

事業所自己評価シート

職員による自己評価

① 環境・体制整備

- ・体を動かすプログラムになった時に、机やいすを完全に撤去するようにしたのは良かった。

② 業務改善

- ・多忙な中でも計画的に研修を実施することができた。

③ 適切な支援の提供

- ・アセスメント等に活用している「ポータープログラム」について「日本ポーター協会」の研修を受け、より深く理解することができた。

④ 関係機関や保護者との連携

- ・地域 自立支援協議会等へは積極的に参加している。
- ・療育センター・保育園等との連携は今年特に多く行われた。

⑤ 保護者への説明責任等

- ・不定期ではあるが、HPの更新、ブログを発信し、事業所の様子を伝えるようにしている。
- ・家族支援はプログラムとしてではなく、相談に応じて行っている。

⑥ 非常時等の対応

- ・非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている。
- ・今年度は「より実践的であること」を目標にし、マニュアルの見直しを行った。

保護者アンケート (回答31名)

① 環境・体制整備

- ・生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。
また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。
「はい」31名

② 適切な支援の提供

- ・子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で児童発達支援計画が作成されているか。 「はい」30名

③ 保護者への説明等

- ・保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング）が行われているか。 「はい」16名「どちらともいえない」5名「いいえ」2名「わからない」8名
- ・日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解できているか。
「はい」31名
- ・定期的に会報やHP等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や自己評価の結果を保護者に対して発信されているか。
「はい」19名

④ 非常時等の対応

- ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。
「はい」31名

⑤ 満足度

- ・事業所の支援に満足している。 「はい」30名
「どちらともいえない」1名

事業所内での分析

【共通点】

- ・子どもたちの活動に合わせた空間となっている。
- ・「適切な支援の提供」や「非常時の対応」など多くの共通点が見られた。

【相違点】

- ・家族支援プログラムやブログについて保護者の方々にしっかり伝えられていないことがわかった。

分析・検討して・・・

事業所の強み

- 清潔で安全に配慮した環境設定
- 子どもと保護者のニーズや課題を丁寧にアセスメントし、ポータープログラムにより客観的に分析された児童発達支援計画を作成

事業所の改善点

- ホームページやブログ発信の周知
- 家族支援・関係機関連携について伝え方の工夫

事業所の改善への取り組み

- ブログ発信について、保護者待合室に掲示し周知を図る
- ブログの更新を定期的に行う
- 家族支援、関係機関連携等について掲示やブログで分かりやすく伝える

～自己評価を行っての事業所としての感想～

開業以来、お子さんとご家族のみなさんに寄り添うことを第一に考えて、自己研鑽の日々が続いています。

それでもまだ足りないことがあると知ることができました。

頂いたご意見一つひとつを無駄にすることの無いよう、今後も、より良い事業所を目指して精進してまいります。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

御多忙の中、アンケートのご協力をいただきありがとうございました。